

1. 件 名 : 「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(東海第二発電所の設計及び工事計画変更認可申請(火災防護審査基準の改正に伴う基本設計方針の変更))【2】」

2. 日 時 : 令和5年5月9日(火) 13時45分～16時10分

3. 場 所 : 原子力規制庁 9階A会議室(一部TV会議システムを利用)

4. 出席者

原子力規制庁 :

(新基準適合性審査チーム)

奥企画調査官、中川上席安全審査官、西内安全審査官、伊藤安全審査官、
畠山安全審査官、岩野審査チーム員

原子力規制企画課 火災対策室

齋藤火災対策室長、星野室長補佐、西野室長補佐、高橋係長、田邊係長

日本原子力発電株式会社 :

発電管理室 部長 他12名(うち4名はTV会議システムによる出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料 :

- ・ 資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請 コメント回答整理表【SA変認(火災防護審査基準改正に伴う火災感知器の種別及び配置の変更)】
- ・ 資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画変更認可申請書補足説明資料(改1)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	原子力規制庁の西内です。
0:00:03	それではこれから東海第 2 発電所の設計及び工事計画変更認可申請の絵と感知器バックフィットに係るもののヒアリングを始めたいと思いますよろしくお願いします。
0:00:13	それではまず、事業者の方から資料 1 と資料 2 に基づいてですかね、概要の説明をお願いします。
0:00:22	はい。
0:00:23	辨野コバヤシです。
0:00:25	前回の、
0:00:26	ヒアリングで、
0:00:28	いただいたご意見を踏まえて、資料を修正しましたので、修正点を中心に説明をさせていただきます。
0:00:37	元のニーズです。では資料の方説明させていただきたいと。
0:00:41	資料 2 のところですね、前回からの変更点については黄色のハッチングで示しております。
0:00:48	また、4 ページ等ですね、ページ全体を追加している箇所についてはページを全体的に黄色い枠で囲んだ形で示しております。
0:00:58	説明は資料 2 の順で説明いたします。で、
0:01:04	あと内容修正方針の方、ご説明いたします。
0:01:09	それでは資料 2 の
0:01:11	3 ページから
0:01:18	修正点としましては、大きなところで、表 2 のところですね、がコメント No. 3 の対応で修正を行っております。
0:01:28	今回申請書につく添付されているものと、こちらの説明の内容、
0:01:33	について、整理をすることというコメントをいただいております。
0:01:37	今回申請書で添付したものについては、すべて記載、
0:01:44	追加したものとしてはナンバー 2 の火災防護に係る工事。
0:01:52	法及び、品質マネジメント、
0:01:56	品質ね。
0:02:00	7 番については、耐震 2 課
0:02:09	で記載をしております。
0:02:12	ナンバー 2 の概要としましては品質マネジメントシステムを示しておりますが、こちらは変更ございません。
0:02:20	についても同様に変更はございません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	7 番の耐震性ですね、については、耐震設計の基本方針及び、
0:02:29	感知器を設置する建屋の地盤、耐震性について示しており
0:02:34	今回購入は種別の
0:02:38	設計の基本方針及び、
0:02:44	変更か
0:02:45	こちら
0:02:46	性に関する説明書についても変更は、
0:02:50	またあわせてナンバーワンですね。
0:02:52	のところで申請概要のところ、適用規格基準規格については、今回変更 ございませんのでこちらも記載を適正化しており、
0:03:01	3 ページ目の説明としては、
0:03:07	続きまして 4 ページ目に、適用条文のページを加えて、
0:03:12	こちらが
0:03:14	コメントNo. 5 の
0:03:18	ポツのうちの一つの技術基準的
0:03:21	整理ミツイ
0:03:24	えてこちらのページを追加しております。
0:03:27	適用条文としましては表 3 に、今回購入に係る審査条文を示しております。
0:03:33	また整理については補足の
0:03:35	説明。
0:03:37	適用条文としましては、ADDの 11 条、火災による損傷の防止と、SAの 52 条になります。理由としましては、同じ文書なので、
0:03:51	まずですねDB施設、
0:03:53	の火災による損傷防止が 11 条、SA施設の火災による損傷の防止が 52 条になります
0:04:00	それぞれDBSAに対する要求であり、
0:04:03	感知器等の種別及びは一戸
0:04:07	講師に、
0:04:09	設計に影響がないことを確認する必要がある
0:04:11	適応審査対象上、
0:04:15	関連する審査書類としましては、
0:04:18	この 1-1-7 の発電用研修
0:04:24	表の外ですね、下のところに書いてあること。
0:04:28	第 4 条、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:31	欲しい
0:04:32	14 条の安全設備中呼称のDB施設の、
0:04:37	DB施設に対する要求であり、
0:04:40	間瀬が
0:04:43	の。
0:04:49	本
0:04:52	続きまして 5 ページ目になります。
0:04:57	こちらはコメントNo.12、
0:05:05	方が空の部分ですね、以前は、
0:05:10	Bポツのところで変更なしと整理しており、
0:05:21	bポツのところですね黄色発注している部分。
0:05:27	異なる感知方式の感知器等を設置
0:05:33	またですね、改正前改正後のところの
0:05:36	変更点下線を引いていたのですが、以前、前
0:05:40	に背下線を引いていましたので今回
0:05:43	一応、
0:05:46	瀬尾支店、
0:05:49	どDについては、記載の適正化で、
0:05:59	続きまして、6 ページ。
0:06:07	フェーズの方が、コメントNo.の 11 番。
0:06:10	の対応で、列を追加する。
0:06:15	火災防護審査基準通りという説明で、
0:06:19	基準通りということであれば、
0:06:28	落とし込んで、
0:06:31	右のところですね、基準要求事項の変更点との間、
0:06:39	まず一番端のところで、
0:06:41	項目として申請範囲を明確にするため項目を追加
0:06:46	続いて変更なしの部分については、
0:06:49	表 4 に示していました要求事項の変更点A及びBの通り、翌日に変更は、
0:06:57	前においても環境条件を考慮し、火災、
0:07:03	医師、また
0:07:05	講師とも
0:07:06	衛藤シノ。
0:07:07	方策を講じる設計としているため既工認から変更はない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:11	大木さん。
0:07:13	続きます。
0:07:15	になります
0:07:20	今回変更す、記載を追加したところで、
0:07:23	表に示す要求事項変更点Cを踏まえて、
0:07:27	河西菅付等は、
0:07:29	施行規則に基づく投入
0:07:31	へ設置すること、及び支障がないことを、
0:07:36	ことを追記
0:07:38	支障がないことを確認した設置方法については米印で、
0:07:42	表の外に注釈を追加する。
0:07:46	そうですね。
0:07:47	以下に示す自動火災報知施設
0:08:04	火災感知、
0:08:10	空気
0:08:26	変更なしの地震基盤のところで、
0:08:29	については、表 4 に示す。
0:08:32	欲求事項の変更転院に対し、火災受信基盤は調整ですね。
0:08:40	また電源のところですね。
0:08:42	もう変更なし。
0:08:44	表に示す要求事項、変更点で、西銘瀬田医師。
0:08:49	外部電源装置
0:08:51	全交流電源喪失時に、
0:08:53	74
0:08:54	電源を、
0:08:59	ホームページ載せ
0:09:13	こちらが、
0:09:15	前回のコメントNo. 9 ですね。
0:09:19	ところで、
0:09:20	決める間月に限定している理由及びオクのエリアのところ、
0:09:26	適用の考え方を整理すると。
0:09:30	コメントや、先行電力の
0:09:32	資料の方、
0:09:33	通しまして改めてフローの整理を行ったので、
0:09:36	こちらのフローを説明

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:39	図 1 の
0:09:42	Aで、左上から、火災防護上重要な機器等及び重大事故等対象施設の配置から区域区画を設定します
0:09:51	火災防護上重要な機器等またはSA施設を設置する区域区画化ということで、その区画の中にこれらの施設がない場合には、農として消防法または建築基準法に基づく火災感知器を、
0:10:06	設ける設計と。
0:10:07	設ける区域区画。
0:10:12	続きまして、
0:10:16	発生が想定されない区域区画。
0:10:18	貫通
0:10:20	設置しない。
0:10:25	続きまして発生が想定される箇所。
0:10:29	より安全
0:10:35	としており、
0:10:38	これなんか、ノーの場合ですね。
0:10:41	まず、国外の火災区域区画。
0:10:46	流通。
0:10:50	を引用しておりましたが、コメントを踏まえてこちらの
0:10:53	屋外の区域があったと
0:10:57	場合には、
0:10:58	屋外火災区域区画、
0:11:01	こちらがノーの場合ですね。
0:11:03	2 分の 2 年間、
0:11:06	都築。
0:11:07	取付面の高さが 20 メートル以上となる区域か、
0:11:15	こちらが営農の場合ですね。
0:11:20	こちら前回ですね、障防法の記載を引用していましたが実際に設計において考慮していることについて
0:11:28	修正した
0:11:30	放射線による火災感知器の故障または可燃性気体の発生が想定される区域、
0:11:37	ところは、
0:11:41	こちらがノーの場合で、
0:11:50	見る

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:51	これ何かすべてあった
0:11:57	フローの説明としては、
0:12:06	続きまして 10 ページ目の説明
0:12:11	こちらではですね修正したところとして三つ目の矢羽根ですね、前回の ヒアリング見て衛藤笠井香月の選定方法のちょっと、
0:12:24	と、熱間つきまたはその感知器を組み合わせた設計設定とするということ とで、
0:12:29	優先順位ですね、わかるように一文を追加しております。
0:12:35	表の方ですね、
0:12:38	コメントリストのコメントNo. 4 です。
0:12:44	申請書の手続き、火災防護の説明書の表の
0:12:49	小野瀬。
0:12:50	と、オペフロの。
0:12:52	高天井エリア、フクマ、
0:12:58	というところで表 6 の 2 分の 1 の
0:13:02	ページの表については消防法施行規則等と同等以上の
0:13:07	方法により設置するべきか。
0:13:10	またこうでです。
0:13:14	コメントNo. 6 の対応として、アナログ式、非アナログ式についてはこの 後の
0:13:37	オカすることで表の方と対応するように、
0:13:40	しており、
0:13:41	また、
0:13:43	2 番目で、
0:13:43	フィティング
0:13:44	ぞ。
0:13:49	こちらについ
0:13:52	当然、
0:13:59	足
0:14:00	もともとですね機構に
0:14:05	3 番です。
0:14:06	のところでアナログ式の煙感知器熱感知器について※1 を振って、
0:14:13	原子炉格納容器に、
0:14:19	その影響でこれ、
0:14:21	起動後ですね、窒素封入高は火災の発生する恐れがない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:26	木曾
0:14:28	も、
0:14:29	除外する運用としてプラント停止後に、
0:14:37	続きまして 11 ページ目に、
0:14:42	こちらが山根で記載させていた
0:14:54	すいません
0:15:03	と。
0:15:09	戻りまして 11 ページ目です。
0:15:12	4、
0:15:13	消防法等に基づく
0:15:19	当該例としまして、当該区域、
0:15:22	A、BまたはSA2 府
0:15:25	1 を設けた。
0:15:32	ヒトミを、
0:15:40	安全機能または受
0:15:49	模型
0:15:53	は多分 5 です。
0:16:05	ハッタ。
0:16:24	で、
0:16:28	種別の設定、
0:16:33	消防法の適用対象ではないためという。
0:16:37	シーズンをして、
0:16:42	っす。
0:16:57	オベフロは 20 メートル
0:17:03	こちらの設備
0:17:11	続きまして 12 ページですね、が、
0:17:15	表の 7 の中で、
0:17:17	煙感知器の 4 メートル未満、誤記があったため、
0:17:22	4 メートル未満は 150 平米のために修正することという、
0:17:30	続きまして、
0:17:36	14 ページ。
0:17:43	こちらでは前回ですね、アナログと非アナログを両方とも一種 2 種三種 ということで記載をしておりました。
0:17:54	アナログ式スポット型はですね、
0:17:59	稼働によって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:01	角調整ができるため、
0:18:12	てことで
0:18:13	資料 2 の 14 ページの方に戻りまして、
0:18:17	こちらで、荒天アナログし、
0:18:19	臼杵さん
0:18:20	と非アナログ式の記載を分けて、
0:18:23	ただ、アナログ式でも感度によって床面積が変わるため、相当ということで 1 種及び 2 種相当三種相当ということで
0:18:31	法定
0:18:34	でこちらに合わせて 15 ページですね。
0:18:38	今回は、熱アナログ式スポット型というところ、
0:18:43	種別のところをバーとしていましたがこちら、
0:18:57	続きまして※。
0:18:59	と。
0:19:00	をいただいて修正したところとしまして 19 ページ。
0:19:10	こちらが、
0:19:11	コメント No. 5 ですね。
0:19:17	のポツのところ、
0:19:19	エリア分類でそれぞれがどのような感知器の設置状況か、今回バックフィットによって最も
0:19:26	の例示的に示してください。
0:19:29	19 ページから、
0:19:33	23 ページまで、
0:19:39	こちらでは火災、6 ポツとしまして火災区域または火災区画における感知器等の配置
0:19:44	を説明しており、
0:19:47	ここまで
0:19:49	の 5 ポツのところに対応方針に基づき配置した
0:20:07	次ページ以降ですね設置個数一覧表というのを示しておりますが、こちらに消防法適合確認、
0:20:16	こちらについては消防法施行規則 23 条 4 項
0:20:23	それ以外、
0:20:26	2、
0:20:34	なおね。
0:20:41	方法。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	教授さんの関連の方ですね。
0:20:50	判例については、17 ページで示している。
0:20:55	昇格ですね。
0:20:56	について適用した場合には、
0:21:00	Dについては、16 ページで示しております、熱間つき、
0:21:05	総区画の考え方を適用した場合にはB、
0:21:10	Cの炎感知器について、8 メートル以上のところですね、の考え方を、
0:21:17	適用して法の活用。
0:21:20	実施する場合には、C、
0:21:23	Dについては屋外区域
0:21:26	Aについては油タンク蓄電池
0:21:29	防爆型を適用している。
0:21:32	Fの高線量の主蒸気管等の数
0:21:37	こちらに、
0:21:38	AAF
0:21:40	AGとしましては階段室の考え方を踏襲している場合には次、
0:21:45	判例を記載し、
0:21:49	次のページ 20 ページの方に、
0:21:54	世良では、例としまして原子炉建屋原子炉棟 3 階、通路部の火災感知器等の
0:22:02	表 14 に示しており、
0:22:05	例としましてRの 3-1-(2)の 3 階通路部ニシノ。
0:22:10	換地区域の中 1 から、
0:22:20	8 メートルから 15 メートル。
0:22:23	面積
0:22:29	これらについてまず煙感知器につきましては、
0:22:35	取り付けの高さ
0:22:39	個数、
0:22:43	個数は、イケダ
0:22:46	消防法施行規則
0:22:54	続きまして熱感知器ですね。
0:22:57	については 8 メートル未満のところに
0:23:02	きめに関すると同様に、それぞれ、
0:23:05	POSを設置し、消防法適合
0:23:10	8 メートルを超えるところですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	についてはパートナー。
0:23:14	この間月
0:23:17	も資格がない。
0:23:20	個数を検討しており、
0:23:22	そのため消防法の適合、
0:23:25	としましては、
0:23:30	続いて 21 ページ。
0:23:36	前のページで説明しました表に基づいて図を示し、
0:23:43	感知区域、
0:23:51	図の方ですね。
0:23:53	赤い線が、火災区域の境界、青い線が、
0:23:59	となっており、
0:24:01	水色が、貼りごとの感知
0:24:05	それぞれ、
0:24:07	何
0:24:08	はい。
0:24:11	また換地区域内の
0:24:18	示して、
0:24:23	今回は
0:24:33	続きまして、
0:24:36	2、
0:24:40	こちらでは海水ポンプ室のはい。
0:24:44	に示す。
0:24:45	しております。
0:24:47	屋外の区域、
0:24:53	ニシナ、
0:24:57	火災の検知に、
0:24:59	影響を及ぼすですか。
0:25:01	2、発電、
0:25:03	を設置して、
0:25:04	またアナログ式ね。
0:25:08	火災の検知に影響を及ぼすしか、
0:25:15	こちらの図で示したものが 23 ページとなります。
0:25:21	図－9 の方で海水ポンプ室の感知器等の配置を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:27	図で示す通り海水ポンプ室を囲う形で非アナログ式の炎感知器及びアナログ式の熱感知器、
0:25:35	火災、
0:25:36	内に、
0:25:43	資料 2 の説明としては以上と。
0:25:50	はい。衛藤規制庁西内です。
0:25:53	そうしましたら、ここまでの範囲で規制庁コガ事実確認しておきたい点ありますか。
0:26:03	はい、衛藤規制庁の伊東です。
0:26:06	そうですねどこから行くかというと、
0:26:10	ちょっとうん。まず資料 1 の整理表なんですけれども、できれば、次、次からでいいんですけど回答のところで、
0:26:21	追加しましたとか、充実化しましたとかって、どの資料の何ページかっ てのがよくわからないので、書いて書いておいてもらえると、助かります。
0:26:32	全然ニイズです。承知いたしました。
0:26:35	はい。
0:26:36	それカーラー。衛藤。
0:26:40	資料 2 の方のパワポの方の
0:26:45	すみません、
0:26:48	今日、あまりメインで話すつもりはないんですけどまず、添付資料を資 料 2 の右下 3 ページで添付資料が、
0:27:01	書かれていて、今回一番下の 7 番のところで、
0:27:07	格納容器。
0:27:09	格納施設の基礎に関する説明書、
0:27:13	含むと書いてあるんですけどもこれは正確に
0:27:21	何だ、
0:27:23	ローマ数字。
0:27:24	5-2 に含まれているわけではないですよ。
0:27:31	現在の位置です。その通りです。
0:27:35	ただキック来ると耐震性の説明書だってそういう意味でしょうか。
0:27:42	県でのニイズです Mori 会で、
0:27:46	ひとまず承知しました。
0:27:48	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:50	それから、次のページ 4 ページに行きまして、ここで条文整理表が載っていますと。それでこの書きぶりを見ると、ちょっと確認なんですが、11 条と 52 条が、
0:28:07	いわゆる〇×三角の丸D、下に書いてある四条五条十四条 15 条は三角っていうそういう整理になっていますか。
0:28:20	前年の人数です。その理解でございます。
0:28:23	瀬戸イトウですはい。そうすると補足の 1 も変更になってくるっていうことですかね。
0:28:32	出野ニイツSS。
0:28:33	この 1 ニイツ。
0:28:34	修正
0:28:37	はい、わかりました今後修正されるということで承知しました。はい。
0:28:44	等、
0:28:46	それでは、
0:28:49	すいませんちょっと今日一番聞きたいところが、
0:28:53	審査基準と基本設計方針の関係なんですけれども、
0:29:00	今回、
0:29:04	6 ページ 7 ページですか、資料 2 の 6 ページ 7 ページで、
0:29:09	基本設計方針とあと、基準の変更審査基準の変更点との関係が書いて書かれましたと。
0:29:19	7 ページで、
0:29:23	その前か支店からヒアリングでも言っていることかと思うんですけど、7 ページの一段落目、火災感知器については羽田なんていうのは、審査基準。
0:29:37	同りてあると。その次の段落、またポツ、
0:29:44	火災の感知主張がないことを確認した設置方法についても適用設計とする、この一文っていうのは審査基準との関係でどういう位置付けなのかっていうのを
0:29:55	もう一度説明してもらえますか。
0:30:30	ちょっと聞き方を変えるとまた後の段落はこれは審査基準の内数で見ているのか外で見ているのかどっちですか、まずそこから確認させてください。
0:31:43	現在ヒロキでございます。すいません内数活動等ツーカーということについてちょっと明確なご回答が今できませんので別途回答させていただきたいと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:53	記載についてはセンコーさんと同じように考えているんですが、おそらく外にはなるんじゃないかと思うんですけども、具体的にご回答させていただきたいかなと思ってます。
0:32:06	はい規制庁イトウです。わかりました。まずここが基本設計方針。
0:32:12	2、審査基準をどう落とし込んでるのかというようなところが決まらないとなかなかす。元審査が元がいいような感じなのでよろしくお願いします。
0:32:35	すいませんそうしたらですねえ。
0:32:43	等、
0:32:48	その次、今のところもうちょっと別の聞き方をするとですね殊
0:32:54	ページ 11 ページで分類いつから 7 までありますよね。
0:32:59	この中で、
0:33:04	自動火災報知設備工事基準書に定める設計っていうのを使っているのはどれ。
0:33:10	かっていうのは今答えられますか。
0:33:35	現在のニイツです。工事基準書の適用をしているのは、10 ページの分類 3
0:33:50	規制庁イトウですはい。
0:33:52	そうするとこの 10 ページだけ見ると、審査基準の中でやってるように見えるんですけど、さっきの外かもっていう話とは違ってきているので、よくよく整理をされた方がいいかなと思います。
0:34:27	とりあえず次々っていいですかね。はい。
0:34:31	と、
0:34:32	11 ページの分類。
0:34:37	4 のところですね、分類 4 からなのか、まず分類 4 から 7 で、
0:34:44	ここが火災防護審査基準によらない火災感知器に係る設計、
0:34:50	であると。
0:34:52	書いてあります。それでまずですね、
0:34:59	なぜ審査基準によらなくても、
0:35:02	大丈夫なのか、大丈夫というのは、基準に技術基準規則に適合しているというふうにいえるのかというところをまず説明してもらえますか。
0:37:01	はい。現在ヒロキでございます。申し訳ございません今の基準適合、なんですけども基準適合、指定してないというところを一応明確にして、してきた。
0:37:13	考えておるんですけどもう少し

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:15	具体的にですね、整理をした上でご回答させていただければと考えており、
0:37:24	はい、規制庁井藤です。
0:37:26	わかりました。よくよく整理をお願いします。はい。
0:37:35	わかりました。それじゃですね
0:37:39	分類４のところでも、もうちょっと詳しく聞きたいんですけども、ここで消防法または建築基準法に基づく云々というところが、
0:37:50	これは具体的にどういう、
0:37:53	火災感知器を設ける設計というのを設置すると思われるんですけど、どういう大きかったんでしょうかねちょっと簡単に説明してもらえますか。
0:38:17	県のニイズです。
0:38:19	この区域計画については消防法に準拠した
0:38:26	その他多重化しない形の感知器の設置方法に、
0:38:35	ピエトリ東レ末と多重化しないという、どういうことになるんですか。
0:39:00	元のニイズです。多重化しないというところへと消防法に基づいて、１種類の感知器や
0:39:14	はい。
0:39:16	いや江津わかりました。それで一つ疑問なのが、
0:39:21	真ん中の欄ですかね、火災感知器等の種別選定結果がバーになっているのは何でなんですかね。
0:39:43	原電の新津です。
0:39:45	今回その審査基準に基づいてその多重化するところについて、
0:39:54	これについて
0:39:57	その障防法で、
0:39:58	やっている考え方。
0:40:01	のため
0:40:02	炉規制法としては説明を、
0:40:05	省略。
0:40:10	はい
0:40:12	規制庁伊藤です。炉規制法として省略と。
0:40:17	言われるとなかなか来た部分があって、技術基準、
0:40:23	さっきの質問と同じですけど技術基準規則への適合、
0:40:27	ていうのは、なんでいえるのかっていうところの説明に、
0:40:31	必要であれば、記載していただくことになるのかなと思うんですけどもいかがですか。

※１ 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※２ 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:42	元広木でございます。今のご質問について消防法で、我々は設置をするというような、適用しないエリアっていうのも、特例等いただければと思っておりますけども、
0:40:56	そういったところに対しての種別を、やはりここに
0:41:00	記載した方がよろしいんじゃないかというご質問
0:41:04	と、まず消防法に従っていれば、
0:41:09	炉規法、
0:41:11	にも適合してるといえるんですけど。
0:41:23	エンドウヒロキでございます。まず炉規法、炉クボに、まず准教授が炉規法で対応するというのが、まず我々の対策っていうか基本になっているものと考えており、
0:41:36	それに対しまして、今準拠するっていう記載というかこれまでもご説明をしておりましたので、
0:41:44	あくまでも労基法で我々是对応していく。
0:41:48	それ、それそこに合致しないようなところは、当然その準拠ということがありますし、消防法に基づいた建築基準法に基づいた、その火災感知そういったものを設置して、
0:42:01	というような、そういう考え方になって、
0:42:06	一つは全庁準拠すると今おっしゃったのは、何に準拠するっていう意味ですか。これまで
0:42:14	既工認の中で説明してきましたのは建築基準法と消防法に準拠ということを明記させていただいてまして、
0:42:24	それに要は合致するように感知器等ですね、火災防護をすると。
0:42:29	というようなところでいただいてる、認可をいただいている。
0:42:34	異なって、
0:42:37	はい規制庁イトウです。おそらく
0:42:41	相田の説明が足りてなくて、結局消防法とか建築基準法でやって、
0:42:47	それが疑義炉規法というか、技術基準規則を満たしていなければ当然人変わってないですよ。ちょっとその間のつなぎの説明をしてもらわないといけないかなと思ってますが、いかがですか。
0:43:18	現在ヒロキでございます。これまでもご説明して参りました説明書等をですね、同等以上というようなところも基準に書いてございます
0:43:30	火災の審査基準。
0:43:31	いや技術基準。
0:43:33	に記載がございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:35	そういったところも踏まえて、丁寧にご説明させていただき、いただきたいと思っております、
0:43:44	規制庁伊藤です。つまりちょっと聞き逃しちゃったんですが、技術基準のどこのことを今おっしゃいました。
0:44:15	原理ヒロキでございます申し訳ありません。
0:44:17	技術基準のですね、
0:44:20	第 1 章と一番最初なんですけども、
0:44:23	技術基準規則に定める、要件を満足する技術内容は、年間の予定あるんですけども、技術基準規則に照らして十分な保安水準の確保が達成できる。
0:44:34	根拠があればということで、同等以上のものと、
0:44:37	ということでこちらを我々は提供させて頂いて、させて頂くと、ということになってございます
0:44:46	はい、規制庁イトウです。はい十分な保安水準の確保ということで、
0:44:55	そこに至るまでの論理展開ですね。何でその消防法または建築基準法に基づいてやることで、
0:45:04	やややって、十分な保安水準を確保できるのかっていうところそこは、説明していただかなきゃいけないと思ってます。よろしいですか。
0:45:17	元ヒロキでも承知しました。
0:45:21	瀬戸イトウです。
0:45:23	そうしましたら、
0:45:28	等、
0:45:31	今回分、
0:45:34	10 ページ 11 ページで分類いつから 7、
0:45:38	と分けてもらっていて、
0:45:42	これが
0:45:45	回答整理表だと。
0:45:50	ナンバー4。
0:45:52	どっかの関係ですかね。
0:45:54	申請書との関係性がわかるように整理することとあって、
0:45:59	ちょっと申請
0:46:02	じっと見比べる等、
0:46:06	比べ、
0:46:07	ずっと何となく対応してるような対応してないような感じがしているんですが、ちょっと対応関係を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:16	改めて教えてもらってもいいですか。
0:46:41	原電の新津です。
0:46:44	では、
0:46:44	申請
0:46:46	48 ページで、
0:46:48	表の上から、
0:46:51	パワーポイントの分。
0:46:57	聞いミツイ。
0:47:00	何。
0:47:03	続きまして知久。
0:47:04	経由、
0:47:07	1 で、
0:47:12	フロアについては分
0:47:20	杉
0:47:27	原子炉格納容器。
0:47:28	つきましても分類の 3、
0:47:33	主蒸気管トンネルⅡにつきましては分の 1、
0:47:37	という整理で、をしております、
0:47:47	はい、規制庁伊藤です。あとは分類、分類、何番と枠一つが対応してる っていう感じでもないってことです。
0:48:00	元の位置でその通り
0:48:03	す。ちなみに一番上、宣誓書 148 ページの一番上で一般区域等、
0:48:11	増設代替低圧注水系ポンプ室と研究用海水ポンプエリアはこれは全 部、土肥分類 3 っていう理解なんです。
0:48:21	元のニイズです。その理解
0:48:29	布施町イトウです。
0:48:34	とりあえず市の申請書との、
0:48:38	関係はとりあえず、はいわかりました。
0:48:42	加えて、
0:48:45	お尋ねしたいのが、この分類いつから 7、
0:48:50	ていうのが、基本設計方針との関係だと。
0:48:56	どこで読めるのかっていうところを聞かせてください。
0:51:01	現在ヒロキでございます。
0:51:03	今のフローの分類関係、
0:51:07	に対して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:09	でございますけども、
0:51:10	基本設計方針の中で、
0:51:14	具体的な
0:51:16	上からですね。
0:51:18	フローの、申し訳ありません。
0:51:21	8 ページ。
0:51:22	なりまして、一番最初のスタートになります。火災防護、重要な機器等、 またはというところの区域区画、
0:51:31	いうところからスタートをいたしますが、
0:51:34	実は基本設計方針の方でより具体的なところでいきますと、分類の、
0:51:41	の 4、
0:51:44	分類の 4 に行き消防法または建築法というところに行きますと、実は基本設計方針でいきますと申請書の 5 ページをちょっとご覧いただくと、
0:52:01	5 ページの下からですね、下に(1)火災発生防止とありますの二つ目の パラになりまして、
0:52:10	その他の発電用原子炉施設については、消防法下、建築基準法云々と あります。
0:52:17	ここにですね、適合させているというところになって、
0:52:24	それが
0:52:27	グラフ
0:52:30	今の
0:52:33	11 ページでございます分類の 4 に記載されて記載いたしました消防法 または建築基準法と、
0:52:40	というようなところのカテゴライズしているところになっております。
0:52:53	アットマークそれちょっと今、大池なかったんですけど分類 4 っていうの が基本設計方針のどこですという結論ですか。すいません。
0:53:03	5 ページ、申請 3 号、右下にございます 5 ページになります。先生そ れ、申請者のは、申請書、
0:53:14	五味先生、はい。
0:53:16	5 ページミギタ 5 ページ。
0:53:19	になりまして、変更前のところ、
0:53:23	にあります。下の方ですね、両括弧 1、火災発生防止とありますその上 二つ目のパラですねその他のっていうところになります。
0:53:33	下からですと 10 行目 12 行目ぐらいになりますけども、
0:53:38	ここ以降に適用させているという

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:42	そういう形でちょっとすみません、ここはだから、火災防護設備の基本設計方針で、
0:53:52	個別のその発生防止とか官庁で消火に入る前の、
0:53:57	ところというそういうことですか。
0:54:01	元ヒロキでも今、
0:54:03	あります。
0:54:04	すいません。そうすると、
0:54:07	と火災感知設備の
0:54:10	ところには、火災感知設備の基本設計方針には、
0:54:15	分類用に対応している記載がないんですか。
0:55:01	ね。
0:55:02	元ヒロキでございます。は、
0:55:05	具体的には今の菅ちいに特化したこの今の基本
0:55:11	記載になっているところには、
0:55:14	実は今説明ご説明させていただいたものはもっと前、前段というか最初のころにでて、
0:55:20	きておりまして、
0:55:21	具体的にその感知のところでの記載というものは、
0:55:26	ございませんっていうのが回答。
0:55:30	ですので充実させようと思いますと、
0:55:32	今の基本設計方針の 5 ページですね、この項目を
0:55:38	はい。5 ページ目の記載を、この換地の中のどこかに紛れ込ませるというか記載をするという、
0:55:47	ことであれば、今呼び出すという形になると思うんですけども、
0:55:52	そういった形を、
0:55:55	どういうことしか今現時点ではないのかなというように判断させていただいてます。
0:56:04	はい。へえ。
0:56:05	藤。
0:56:10	必要があればそうしていただく。
0:56:13	ことになるのかもしれないですけどもすいません、分類 4 のところだけ、はやりとりしてますけど、他の
0:56:23	分類 1 から 3 とか 5 から 7 っていうのは、
0:56:28	基本設計補正で対応するところ。
0:56:30	どこかっていうのは言えますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:25	県連の三つです。
0:57:30	こちらの分類については、基本設計方針については、変更のないところ、
0:57:39	環境条件等を考慮し組み合わせて、設置するところと、
0:57:45	根井
0:57:46	消防法等の考え方に基づいて設置するという
0:57:52	方針の中には、
0:57:54	で、
0:57:55	久米英心
0:58:03	その該当のところ、
0:58:08	138 ページ。
0:58:17	138 ページのところで
0:58:22	5 行目のところでDと津野葛西菅。
0:58:25	木野種類っていうの
0:58:27	(エ)のところについてはこちらへ
0:58:32	3 のところの一般区
0:58:37	その上で、括弧Bとしまして一般区域
0:58:45	燃料が効かする恐れがあると。
0:58:52	④で放射線
0:58:54	0 ホデSE、
0:59:01	最適な
0:59:05	原則、
0:59:12	今までの説明の中の①のところを、
0:59:19	を適用しまして、公然と非アナログの、この間、
0:59:27	炉については格納容器は 1、
0:59:31	機器の
0:59:34	せ、
0:59:36	はとしまして、燃料タンク、
0:59:41	年 2 についても、屋外エリア
0:59:44	本については放射線の
0:59:47	影響がある、主蒸気管、
0:59:50	その地区で
0:59:53	どうしても
0:59:55	140
0:59:56	火災感知器を設置しない区域。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:19	規制庁の井藤ですけれども、今の話の流れだと、基本設計方針で今パワポに載せてる部分は、中身がないというふうに聞こえたんですけど、そういう理解でいいんですか。
1:00:36	元ヒロキでございます。中身がないと、いうことであれば、確かに記載はですね、
1:00:44	概要概略等、要するに大まかなところをポイントを割いて作成というか、記載しておりますので、その具体的な内容については今の説明書の方に飛んでいるということになっております。
1:00:56	基本的には
1:00:58	基本的方針の方に記載されている文章というか、
1:01:02	その文言をいま一つずつ紙、
1:01:07	弟、一緒になる。
1:01:10	あとと考えていますけども、
1:01:15	基本設計方針には載ってないというところになって、
1:01:28	規制庁西内ですけど、
1:01:31	基本設計方針をいわゆる本文事項と、
1:01:35	あと添付の関係とかも含めての認識をまず合わせたいんですけど。
1:01:40	添付説明書はあくまで、
1:01:43	添付なんですよね。
1:01:44	認可を要する工事の範囲ってどこかっていうと、今回の申請でいうと基本設計方針の変更がまさ認可を要する工事として申請されてるわけですよ。これは規則で明確に書いてますけども、
1:01:57	なので、添付資料はあくまでその変更の工事の内容を説明するものなので、説明する資料なので、基本設計方針に書いてることを具体化したものなんですよね。
1:02:07	だからすべて基本設計方針まだ載ってないといけないわけですよ。その中でさっき広木さんおっしゃったように、1519 すべて書いてなくても、書き
1:02:15	かみ砕いていけば、この説明になるんですっていう説明はあり得ると思うんです。ただその紙書き方がわからないからそこを説明してくださいねっていうのを今お伝えお願いしてるもの。
1:02:25	その事実関係を整理して説明してくださいと言ってるもので、
1:02:29	だから基本設計方針のここの部分に基づいて、この分類この、
1:02:34	設置をしていますとかそういう説明をしてくれれば理解ができる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:39	で、そこが説明できないってことは基本設計方針に書いてないってことなんですね。
1:02:43	そうすると、それが基準適合性に必要な設計なのであれば、なぜ基本設計方針に書いてないんですかって確認が続くわけですね。
1:02:51	ていうところでまずは今基本設計方針に基づき、ここにいろいろ書いてもらってますけどどういう設計をしているのかっていうところが、その紙書き方行間っていうところがわからないのでその事実関係を整理して欲しいという確認をさせていただいてるところです。
1:03:05	まずこの認識はよろしいですか。
1:03:09	権利ヒロキでございます。はい。
1:03:10	そこは承知しました。具体的ただ確認なんですけども、今の基本設計方針自体の変更前後で、申請者の方には記載させていただいております。
1:03:24	今回の説明の中で、こっから基本設計方針から、パワーポイントの方に、
1:03:30	しております。そういったところからいくとパワーポイントの方を、
1:03:35	申請書に合わせ合わせてはいるんですけども例えば開業したりとか、
1:03:39	この文言は、この後の
1:03:44	フローですね、フローというか分類というか、ここに適合してますよというものを、パワーポイントの方で示し御説明。
1:03:52	できれば足したいなとは思ってるそういうような考え方で整理の仕方でも大丈夫でしょうか。
1:03:59	もしそこで足りないということであれば、当然今申請書になっております基本設計方針の変更の方も、もう少し料理というかいろいろと記載の方法ですね。
1:04:11	適正化していかなければならないかなというように思っているんですけども、まずは、今おっしゃられたように、
1:04:20	今記載されているところが、ここですっていうことをきちんとご説明元の方からご説明できれば、
1:04:29	まずはこのこのままでもクリアするのかなと。
1:04:31	いうようには考えておりますけど、それでよろしいでしょうか。江藤。衛藤そうですね今そもそもまず補正ありきで話をしてるつもりは毛頭なくて、まず今当初申請をもらって、2回目のヒアリング事実確認をしてるところですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:45	まず度どう考えてこういうふうに申請してるんですかってそのまず現状の考え方を説明してくださいと言ってるだけですので、
1:04:52	逆に言うと、その説明できるはずですよ。そのような、申請されてるわけですから、だからしっかりまず現状の考え方説明いただいて、
1:05:02	それに対して、やっぱり違うよと、そういう話議論なっていくのであればその会合でやっていく話だと思いますし、
1:05:09	そこで違うねって話なんだと言えれば基本設計方針として明確化しましょうとかそういう話が初めてそのあとで出てくる話だと思うんです。
1:05:15	入口の段階の確認ってそういう理解です。
1:05:18	まずはしっかり検査の考え方をしっかり考えても、明確にしてみよう。
1:05:22	ていうステップをお願いしているという理解ですね。で、先ほど広木さんがおっしゃったカワカミ管行けば、一致すると思っているっていうその紙書きを入れてもらえばそれで
1:05:32	まずはお互いの共通認識を図れるのかなと思うんですけど、まずそこがちょっと読み方がわからないのでっていうそういうところです。
1:05:41	現在承知しました。
1:06:19	規制庁井藤です。よろしいですか。ちょっと繰り返しになりますけど今回審査基準が改正されて基本設計方針を変えてますよと。
1:06:30	なのでとその間の繋がりが必要ですよ。で、そのあと基本設計方針に従って
1:06:39	今回の分類 1 から 7 っていうのをやられているはずなので、その間の繋がりもきちんと説明してもらう必要があると考えてます。はい。
1:06:49	よろしくお願いします。
1:07:03	あと、規制庁イトウです。よろしければ、次にいって、
1:07:10	あまりその子、
1:07:12	今の段階で個別の
1:07:15	エリアの話をして、なんですけれどもちょっと確認なんです、
1:07:22	うん。
1:07:23	20 ページ。
1:07:29	等、
1:07:33	19 ページでもいいんですけども、20 ページでしCという判例が出ていて、
1:07:39	ここで炎感知器、
1:07:42	判例理由で上農業で 8 メートル以上のエリアについては、総合スポーツ 23 条 4 項第 2 号により熱間つき、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:53	の設置がですかね、の設置が認められない。
1:07:55	そのため、Hyalo尺の感知器を、
1:08:01	消防法施行規則、
1:08:05	または施行規則等と同等以上の方が設置すると書かれて、
1:08:09	いる。
1:08:10	ちょっとこれ確認だけなんですけど、ここのCの、
1:08:14	判例ってのはこれは、
1:08:16	審査基準。
1:08:19	通りなんでしょうかそれとも政策性の通りではないんでしょうか。
1:08:32	元でのニイズです。審査基準通りで、
1:08:36	はいわかりました。もう一つ、それじゃ、22 ページの方で、今度はDって いう判例があつてですね、ここはどうでしょうか。
1:08:59	原燃の新津です。屋外エリアとなつてと消防法の適用外となつてしまう ので審査基準、
1:09:07	通りではないとか、
1:09:11	はい、池井と規制庁イトウです。
1:09:15	わかりました。はい。
1:09:21	はい。すいません。私からはとりあえず一通り以上です。
1:09:28	規制庁ニシウチつちちょっと先に 1 点だけすいません。
1:09:32	先ほど移動の方から基準とうちは設計方針、あとは基本設計方針と具 体の設計とした部分でとかの紐づき行間というところをしっかりと充実って いう、
1:09:41	確認をさせてもらったと思うんですけど。
1:09:44	ちょっともう少し具体的に言うそうですね。
1:09:47	まず基準と、
1:09:51	基準と、何かちょっとちょっと間とおっしゃいますけど、基準と基本設計 方針なので基準と部分で具体的に言うそうですねページ 11 ページのとこ ろなんですけどね。
1:10:09	11 ページの、この分類の 4 であると思うんですけど、
1:10:14	これはどういう意味って、どう、火災防護審査基準のどこの要求事項に よらない設計としてここに載せているのかをちょっと明確に確認をしたく て、
1:10:27	要はですね、ちょっと今回ややこしいんですけど、5 ページ目ちょっと基 準まとめてもらってると思うんですけど、
1:10:37	感知器関係で要求事項を幾つかあつてですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:41	今のところに関係する話でいうと、この改正後の青枠の部分に、
1:10:48	異なる感知方式の感知器等組み合わせそれぞれ設置する、要は 2 種類設置するって話がここに書いてありますよね。で、
1:10:56	もう一つあるのがこの緑枠のところで、その 2 種類設置するって言ってそれぞれが、消防法施行規則通りに設置しようねっていうそういう話。
1:11:05	こっち二つありますよね。で、
1:11:08	ちょっとこの二つの要求事項のを踏まえてもう 1 回 11 ページに戻りたいんですけど、
1:11:15	この分類用は、今の、どっちに対してよらない設計なんですかね。
1:11:20	両方。
1:11:21	だからですね前者と、そのさっきの 2 種類組み合わせるって話と、
1:11:26	それぞれが相組み合わせた 2 種類が、それぞれが消防法施行規則通りに設置するしないっていうその話と、何かごちゃごちゃになってるんじゃないかなって気がしてて、
1:11:36	ここさっき話は何か多重化して内容は 1 種類しかオカないって話ありましたよね。そういう意味でいうと、
1:11:44	火災防護審査基準内か外かって話いっぱい置いて、何か愚直に読むと、さっき言った 2 種類組み合わせるって話は違う設計してるわけですよ。
1:11:53	その点でまずやらないっていうところは理解できますと。
1:11:56	じゃあ、次に、1 個送ってした上でその 1 個は、消防法施行規則通りオクオカない。
1:12:04	で、
1:12:05	ちょっとその話でももう一つあるのは、先ほどこれ炉規法の外の話ですよって話があったんですよ。そうすると、1 個オクオカないって話は何か関係あるんですけど今日の加納小の適合性をうたう中出とか、
1:12:16	ちょっとその、何に対してっていうのをちょっと意識して、事実関係を整理いただきたいなと思ってます。
1:12:25	ちょっとこら辺がちょっと曖昧で、どういう意図を持ってそう言っているのかわからない。
1:12:31	っていうところですかね。
1:12:34	今回はあくまで感知器バックフィットのところ追加要求事項の設置方法の部分に対しての話なので、まずしっかりそのよらない設計というところはその部分に対して、やらないのかやるのかっていうところでしっかりまず意識をしていただいて事実関係を整理いただければ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:50	もう少しクリアになっていくのかなと思ってます。
1:12:53	ちょっとナンバー分類用ですねそこら辺がちょっと曖昧な気がしてて、
1:12:57	これおそらくですけどあのオク感知器って消防法施行規則で置いてるはずですよ。だって障防法と。
1:13:03	建築に基づく感知器って書いてるわけですから。
1:13:06	そうすると言ってるんじゃないですかって気もしますし、よらないって言いたいのは先ほど説明の中であったような炉規法の外だからって言い方なのか。
1:13:14	そうすると、ナンバー5 の分類 5 ってあるじゃないですか。オカない。
1:13:18	オカないところ。
1:13:20	これとNo. 4 で何か違いがあるんですが労基法上において、
1:13:27	ていうようなそこら辺の関係性ですかね、っていうのをどう考えているのかがちょっとまずよくわからなくて、
1:13:34	どう考えてるのかっていうのが明確になれば、その理由が適合性。
1:13:40	そして、語れないようかっていう確認が次続くんですけど、ちょっと入口がちょっとまずわかってないので、その先が確認しようがないというのが今の状況なんですよ。
1:13:48	ていうのも含めて基準と基本設計方針と、あと最終的に落ちていく分類。
1:13:54	ていうところの繋がりがっていうところをもう少しかみ砕いていただければ、
1:13:58	基本設計方針の
1:14:00	確認っていうのがもう少し進んでいくのかなと思っているところですね。
1:14:05	で、
1:14:07	先ほど広木さんの方から認可いただいているって話だったと思うんですけどそこはまさに、
1:14:12	2 種類置かなくていい。
1:14:14	ところとして認可をしているっていうとそういう話だったのかなと思っていて。
1:14:19	今回は別にそこを審査してるわけじゃないですよ。そこを何か変えようと思ってるわけではないと思うんですけど。
1:14:24	ていうところがちょっとごっちゃになってるのかなっていう気がしますっていうとそういうところですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:30	衛藤鋼板だけ設置方法だけ説明抜き出して説明しづらいんだったら、その２種類組み合わせるところが全部全体として説明いただいてもいいんですけど、
1:14:40	ごっちゃにするんじゃなくて、全体説明するんだったらそのパートパートごとにちゃんと説明をする。
1:14:46	最低でも今回は設置方法のところでしっかり説明いただくっていうのがまずスタートかなと。
1:14:54	ていうところも含めて先ほど伊藤が言ったコメン等の基準と基本設計のフルタの関係というところはしっかり整理をいただければいいのかなと。
1:15:04	というところをちょっとお願いしたかったというところですね。
1:15:07	よろしいでしょうか。
1:15:18	現在ヒロキでございます。
1:15:21	たですね、まず
1:15:24	基準に、
1:15:25	審査基準の方に記載されてる内容、
1:15:28	当然我々はですね、葛西秋田我々は労基法があつての、それに、それで対応をつける意思をつける。
1:15:39	それにあたっては障防法準拠するという形で刑務熱、そういったものをこれまで設計してきておりましたので、今回のバックフィットは、
1:15:48	今の考えを踏襲して、ご説明するのか、或いは今回の内容を踏まえて、もう少しちょっとアレンジが必要なのかというところはちょっと整理しまして、
1:15:57	きちんとご説明させていただきたいと考えてます。
1:16:03	はい、そうですね
1:16:07	最後はどう設計されるかですけど、
1:16:10	基本さっき言ったように要求事項はまず、２種類組み合わせるっていう話と、その組み合わせたそれぞれが、その消防法施行規則通りに設置するっていうのは別の要求だと思っているので、
1:16:21	今回改正してるのは後者ですよ。その後者によって、前者の設計を根本から見直さなきゃいけないってことないのかなと思っていて、もしかしたら多少見直す部分あるかもしれないですけど根本から変わるのはちょっとないのかなと思ってますけど。
1:16:35	ちょっとどういう意識を持ってやろうとしてるのかっていうのを明確にいただければいいのか、あまり根本から変える必要があるんであれば、なぜなのかっていうところも含めてですよ。はい。

※１ 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※２ 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:46	基本
1:16:48	なんかまず 2 種類 1 種類、何もオカないっていうその分類はあまり変わらないのかなあという意識で聞いてはいたので、先ほどそれは認可いただいてる範囲でおっしゃってたように多分変わらないのかなって認識でいましたけど。
1:16:59	ちょっとその辺を明確にして欲しいというところ。
1:17:04	元ヒロキでございました。
1:17:06	はい。ちょっと先にすいません全体的なところだけ先に確認させていただきましてけど、
1:17:12	ちょっと私は他にもちょっと細かいところありますけど、さっき他に皆さんから、ほかの点も含めて何かありますか。
1:17:25	とか臍帯火災対策室のサイトウ。
1:17:29	とですね、話として、火災防護審査基準を何だかっていうのをちゃんと理解されてるのかどうかをちょっと事実確認させていただきたいんです。
1:17:41	今回、作ってる資料の中で、
1:17:46	5 ページのところがあって、
1:17:49	今回パワポの資料でご説明いただいてるところの 5 ページですねそこに火災防護審査基準の話が入ってます。
1:17:59	ここの花Cと併せて確認しとかな。今、原電側からの説明よくわからなかった、一番よくわからなかったのは、これの前に、
1:18:13	そもそもこれ 2.2 の話ですけども、2 の基本事項っていうのがあるんですよね。
1:18:19	基本事項は何書いてあるかっていうと、
1:18:24	火災区域とか火災区画に設置されるもので、三つの深層防護対策のそれぞれを考慮した火災防護対策を講じることっていうふうに書いてあるわけですよ。
1:18:39	そこに感知消火という言葉がきちっと入ってて、要は火災区域や火災区画のところに対しては、
1:18:49	感知消火の対策をとらなければいけないという概念が、この説明資料の中に入っているのか入っていないのかっていうのが非常に不明確なんです。今日の説明の中では、
1:19:05	あそこが炉規法の外とか中とか、いう確認をさせていただいたところの中で、
1:19:13	どっちなんですかねと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:15	いう話を理解された上でこの 5 ページの部分、今回の資料で言うところの 5 ページの部分をちゃんと書かれていますかねっていうところの確認をしたいんですね。
1:19:30	いいですか。そこ火災防護審査基準の対象範囲ってどこですかって言ったらそこに基本的には、
1:19:38	戻っていくものだというふうに考えていて、そうすると、最初から、火災防護審査基準のの範囲範囲としてどう、どう見てるんですかって言ったらそれは火災区域火災区画を設定してるところだと。
1:19:52	いうことでそこは間違いはないんですかねその認識は合ってるんですかね。そこすら違うということですかね今回の説明は。
1:20:02	玄広木でございます。まず火災区域区画については、
1:20:08	申し上げないんでしょうか認可を持っていた、その範囲からまず変更はまずないというところで、当然もう今、
1:20:22	衛藤 2020 ページだけ
1:20:25	資料の 20 ページ、20 ページでしたっけ、あ、すみません 21 ページで、
1:20:34	キープランとちょっと小さいんですけども、これ赤線とその青線、
1:20:40	区域カクウを、明示させていただいておりますけども、
1:20:46	これがそもそも我々の火災区域区画、
1:20:49	設定したところとなっております、
1:20:51	そこに変更はない。
1:20:53	それに対しまして、今回ワークフィットで、これまで足りなかった、或いはお示ししてる通り 3 回目性の高いところですね。
1:21:04	そういったところの感知の変更、そういったものを今取り組んで、
1:21:08	というようなところになってくる。
1:21:11	火災対策室の齋藤です。お伺いしたいところはもう少し前の話で、火災区域や火災区画で設定しているということは、
1:21:21	そもそも火災防護対策として、感知や消火の対策をとらなければいけないという認識が、になっているか、それとも違うのかというもっと根本的なところを、お伺いしてそこ大丈夫ですか。
1:21:36	はい。そこはもうおっしゃる通りでございます。
1:21:40	必要なものをまず、
1:21:54	すみません頭の中がちょっとごっちゃになっちゃったんですけども
1:21:57	基本的には我々は
1:22:01	度胸で付けなさい、それは消防法に準拠しなさい、でもつけないところがあある。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:07	つきまして説明をご説明させていただいてるんですけども、金属筐体しかない、燃えるものがないということでここは除外しますっていうようなところを、説明書の方なんですけども、
1:22:18	そういったエリアをピックアップした上で、今回感知器前回ですね、対応、
1:22:27	時期等、対応してる対策してると。
1:22:30	設計してるっていうようなところになっておりますので、基本的には、必要なお考え。
1:22:36	ている前、前者の方の話かなというようには認識しております。
1:22:42	火災対策室の齋藤です。
1:22:45	要は、火災区域や火災区画を設定してるということは、
1:22:50	要はつけるつけないも含めて、感知消火対策を行うんですよっていう話ですそこはイエスでいいんですよ。
1:22:58	原理ヒロキではそこはイエス。
1:23:02	はい火災対策室の齋藤です。そこを基にして、じゃあ、原則論と例外っていうのがどうなっているのかというのを、きちっと5ページのところの資料の5ページのところの2.2の、
1:23:15	ところで、原則論はこうです。それと同等の対策となっているものはこうですと。
1:23:22	というような整理が当然されるべきだと思うんですけども、そういう頭の整理でよろしいですか。
1:23:38	はい。
1:23:40	頭の整理は、そのようになっておりまして、具体的に資料の方に、すいませんヒロキでございます。資料の方に落とし込んではいないということになっておりますので、
1:23:53	そういったところの補足ですね説明、許可資料等にもはねるんですけども、そういったところで説明させていただいてるところがありますので、そういったものを今後、補足。
1:24:04	をさせていただきたいというふうに考えておりますがそれでよろしいですか。
1:24:09	火災対策室のサイトウって私は今の事実関係として、認識が合ってるのか合っていないのかというところを確認しているので、整理の話は今までの、
1:24:18	イトウであったりニシウチであったり、のそうしたところの確認を反映させていただければと思っておりますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:25	要は、
1:24:27	要は 2.2 はあくまでも原則であって、原則の部分について、沿わないところっていうのが当然あってそこについてはその同等性について、
1:24:37	説明をしていくと。
1:24:38	というのが、だから今回のストーリーだと私はそういうふうに理解しながら読んでたんですけどもそれは違うんですかそれともそれが正しいんですかね。
1:24:50	元ヒロキでございます。はい市長のおっしゃる通りで前者の正しい。
1:24:56	火災対策室の齋藤ですそうすると、原則って何ですかっていうのがこの資料の 5 ページのところに、整理されてる話になるわけですね。
1:25:07	そこでは何を書いてあるかっていうと、
1:25:12	感知器の選定の話が入っていて、前段にはですよ。その後ろに、
1:25:18	緑枠のところ設置の考え方っていうのが書いてあるわけですよ。
1:25:25	何が書いてあるんですかっていうのをきちっともう一度読んだ上で整理していただきたいんですね、原則は何ですかと。
1:25:33	原則は、型式を選定して、
1:25:37	それぞれ 2 種類の文、異なる勘定方式のものをそれぞれ設置すると。
1:25:43	というのが前段の赤と青の枠のところですよそこまでは認識合ってますか。
1:25:55	で、次に②番のところ緑の枠のところの話があるわけですね。緑の枠は何を書いてあるのかっていうのをここ、
1:26:03	現連の資料ですと、そこは消防法施行規則等に従って設置することを明記って書いてあってさらっと書いてありますけども、ここの考え方を、
1:26:13	ちゃんと理解した上で書いてるか書いてない。この先の資料の構成になってるかなってないかっていうのがいまいよくわかんないわけですねここ何を書いてあるかっていうと、
1:26:23	感知器については、出てくるた、出てくる単語は、
1:26:28	消防法に基づく、感知聞いのことを指していますけれども、感知器については消防法施行規則の 23 条 4 項に従ってくださいって言って感知器は、消防法施行規則に従うという一文だけが書いてあるわけ。
1:26:44	そこまでまず大丈夫ですね。
1:26:48	下の三つです。
1:26:52	火災対策室の齋藤です。その次に何が書いてあるかっていうと、感知器と同等の機能を有する機器については、
1:27:01	同校に求める乾式の要は、網羅性をまず確保しなさい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:08	それから、
1:27:09	とか、
1:27:10	その先に規格省令の話が、感知器の規格省令の話が入っていて、その感知器の規格省令に定める感知性能と同等以上の感度になるように設置しなさいと。
1:27:23	要は網羅性と、
1:27:25	感知性能を両立させて設置しなさい。
1:27:29	いうふうに書いてあるはずなんですよね。そこは私の解釈と原電の解釈間違ってますか。
1:27:35	大丈夫すか。
1:27:39	現在ヒロキでございます。間違っておりません。以上です。
1:27:43	火災対策室の笹井です。ということが、
1:27:47	原則で書いてあるわけですよね。そうすると、それによらないところっていうのは基本的に、
1:27:54	例外として説明していくわけですがそれでも同等であると。
1:27:58	いうことを説明するための、
1:28:00	根拠になって戻ってくるところってのはこの消防法施行規則にそのまま従うか、もしくはその網羅性と感知性能を両立させたような設置の仕方を実現しますと。
1:28:13	いう話に多分なってくるんじゃないのかなあと思ってそういう目で見てるんですけれども、その説明がよくわからない。
1:28:22	いう話になってくると思うんですけども、認識違ってます合ってます。
1:28:42	今の必要な経費でございます。室長のおっしゃる基本的には合ってるとは考えられるんですけども、
1:28:52	ここで言う感知器と同等の機能を有するものに対するその網羅性、
1:28:59	それと感知性能、
1:29:02	でも、ここやっぱ力的なのは、このフレーズなんですけども、
1:29:07	その考え方をもとに整理を、
1:29:10	していく、しているというようなところで、
1:29:15	今のご質問の、
1:29:18	ちょっとオウム返しになってるんですけど、今の
1:29:22	設定
1:29:24	ちょっと違う。
1:29:28	火災対策室の齋藤です。私は基本的には原則として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:33	感知器については 23、施行規則の 2、消防法施行規則の 23 条 4 項ですよねと。それから先の、
1:29:41	同等。
1:29:42	要は、検出装置とか建築、何だ検知装置と言ってるものについては、
1:29:49	網羅性と、
1:29:51	感知性能を両立させて設置しなさいというのが原則ですよっていうふうに書いてあるんですよっていうのを、
1:29:57	認識が合ってるかって何かの確認をしてるだけなんですけどね。
1:30:03	片言ヒロキトガシ失礼しましたそれはあって、
1:30:08	火災対策するサイトウです。そうだとすると、それから先の、
1:30:13	そのフローで分けた例外と呼ばれてるものは、そういったものに対してどのように、従って、
1:30:23	同等になっているのかと、いうことをひたすら説明していくということになるんじゃないですかという話だと思うんですけどもそこを、今日説明できた。
1:30:35	思いますかっていう話を、大きな話としてお伺いしてるわけです。
1:30:46	現在ヒロキでございます。市長のおっしゃる通りでございます、確かに我々今の確認、確認を図ってきた内容通りなんですけども、
1:30:57	基本的にこの資料の中で、
1:31:01	今の分類 4 等に含めて、もう
1:31:04	まして、このようにするというフローを構成しながら、一応説明資料としては作成して参りました。それがちょっと、
1:31:12	だったら、足りないというところがあるのかなというのも、先ほどから
1:31:17	ご質問、
1:31:19	確認事項が入ってる通り、
1:31:22	まだ補足する部分があるのかなというように感じております。
1:31:28	火災対策室のサイトです。ですから、
1:31:33	いろいろ整理していただく話の中で、そもそも何が、火災防護審査基準に書いてあって何が沿っていて、どっから先が同等なんですまたはそれと同じ。
1:31:45	の話なんですというところをどのように、ご説明されるのかっていうのをきちっと体系だって、技術的にご説明をいただきたいというふうに私は考えていますので、
1:31:58	そういった整理の仕方をお願いしたいんですが私の時の認識と、皆さんの認識とりあえず合ってるということによかったですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:09	元ヒロキでございます。大変申し訳ございません合ってるというところで、はい。大丈夫です。
1:32:16	火災対策室の齋藤です。その上で用語の使い方として、
1:32:22	だから結局今お話してて広木さんからご説明いただいている話で消防法に準拠するって言い方してますけれども、結局技術基準としてしか使っていないから準拠って言葉を
1:32:34	使うと、だから言葉がややこしくなるので、そういう時にどういう、要は技術基準として採用してんのか採用してないのか、それをはっきりと、
1:32:44	させてご説明をいただきたいんですというのが1点のその事実関係の確認と、それはそれでいいですね、準拠してるっていうのが技術基準として使ってるという意味だけですね。
1:32:57	県ヒロキでございますはいその通り。
1:33:00	それとあともう最後1点だけ言葉の使い方の確認なんですけども先ほどから出てくる20ページの資料20ページのところ
1:33:14	しいて言うところの一番最後の書きぶりですね。
1:33:20	火災防護審査基準は23条4項に従うっていうふうに書いてあっても、ここには、または、
1:33:27	施工基準等と同等以上の方法で設置するっていうふうに書いてあるんですね。これは何を指しているんですか。
1:33:34	火災防護審査基準と、
1:33:37	の関係でいうとこれは何を示しているんですかというのを、
1:33:41	改めてご説明いただきたいんですけどもよろしいですか。
1:33:52	現在ヒロキでございます。別途、ご回答させていただきたいというふうに
1:33:59	火災対策室をされてます。私からは大きな部分の確認としては以上になり、
1:34:08	衛藤規制庁西内です。衛藤サイトウ室長の話ちょっと加えてなんですけど、
1:34:16	江藤マニワ齋藤市長の方から、
1:34:20	J-R審査基準の意味合いとか、その審査基準によらないのであればその審査基準との同等かどうかみたいな話をあったと思うんですけど。
1:34:31	まず、火災防護審査基準は、
1:34:35	技術基準規則における1解釈規定であって、
1:34:40	といっても火災防護審査火災防護においてはほぼ仕様規定みたいな形のイメージになっているので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:46	大体側のその仕様規定に沿った対応をされてると思うんですけど、そういった意味合いで齊藤が言ったように、火災予防審査基準と言わない部分はまずその審査基準と同等かどうかというところを考えるっていう話があると思います。
1:35:00	ただ、最後は別にそこが、
1:35:03	マストかというと、
1:35:05	これ先行の審査実績もオープンになってますので、確認いただければと思いますけど。
1:35:10	最終的には別にそこではなくて、技術基準の法則。
1:35:15	との保安水準っていうところで我々の適合性を判断しているところもありますので、
1:35:20	その枠組みですよ何と、要はやらないのであれば、何に対してどうするのか、火災防護審査基準に対してなのかそれとも本則に立ち返ってなのかとかそういうところの枠組みを含めて、しっかり
1:35:31	説明をいただくっていうそういうところかなと思ってます。
1:35:36	その点はよろしいですか。
1:35:41	ジンノニイズです。承知いたしました。
1:35:45	多分ですね、審査基準の、消防法施行規則、あとはその網羅性とかのその省令ありますよね。これも具体的な性能が書かれているので、これと同等というとその性能がなきゃいけないですよ。
1:35:58	嘘。それはいえるのかどうかっていう話はあるのかなと思います。
1:36:02	で、そういう意味でいうと、もう少しちょっと話を、確認をさせていただきたいのは、
1:36:08	結局今回、オク場所、
1:36:11	感知器を置く。
1:36:13	場合で、屋外はちょっと除いてですけど、
1:36:17	建屋内で置く場合は、これすべてこの消防法施行規則または、
1:36:23	消防法の省令に基づき設置しているって理解でいいんですけど。
1:36:31	そういう意味ではちょっと、すみません先ほどの基準の意味合いの確認もう少しだけ確認したいんですけど、あれ。
1:36:39	感知器は、消防法施行規則に感じた同等の機能を有するものは、その関係省令にですよ。
1:36:46	感知器っていうのはいわゆる障防法検定品のことを指していて、それ以外のものが公社野田同等の機能を有するもの。
1:36:53	ですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:55	て理解でよかったですね。
1:36:57	出野ニイズ 鷺見池端
1:37:00	と具体的に言うと 20 ページのさっき齊藤が確認した部分ですけどね。
1:37:04	この、
1:37:05	そのため、
1:37:06	ポツで書いてる非アナログ式の炎感知器っていうのはこれは、感知器、
1:37:14	2 年のニイズですね、その間月に、
1:37:17	はい、規制庁ニシウチですわかりましたそうすると。
1:37:20	これは、
1:37:22	23 条 4 項に基づき設置しているってことなんですか。
1:37:28	原燃のニイズです。23 条の 4 項に基づいて設置しているという理解で 問題
1:37:42	規制庁西内ですわかりました。
1:37:45	だから、オク場所屋外はそもそも建屋が障防法の話、範囲外なのでって 話もあったと思いますけど建屋に関しては置く場所、一種 2 種類あるか もしれないですけど、
1:37:56	置く場所は全部、このどっちかには、要は主語に応じて、その審査基準 通りになっているっていうのが、今のまず全体の説明って理解でよかつ たんでしたっけ。
1:38:06	ちょっとそこら辺をまず明確にしていいただければいいのかなと思います。 現時点ではそういう理解で受けとめましたけどもし訂正があればもちろ んその後日、出していただく資料でまた明確にしていいただければそれで結 構です。
1:38:34	出野ニイズです。
1:38:35	先ほどのちょっと確認について
1:38:40	聞きます。
1:38:41	菅月井についても 23 条 4 項に従っていることを基本としておりますが、
1:38:48	基本設計方針のちょっと
1:38:52	うまくお伝えできてないと。
1:38:59	いうところで、
1:39:02	はい。そうですねそこで先ほどから言っているように、その関係性を明 確に一つ一つ、基準からどう落としてるのかっての 1 個 1 個丁寧に説 明いただければ明確になっていくのかなと思いますので、
1:39:15	とりあえず理解をしまっしと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:19	はい、じゃあ、すいません。大きいところをムネイの確認を進めてますけども、大きいところでも、それ以外の点でも、規制庁側から何か追加で確認事項ありますか。
1:39:30	はい。
1:39:37	火災対策室の田部です。
1:39:52	7 ページの※のところちょっと質問します。
1:39:58	パワーポイント 7 ページですね。
1:40:05	工事基準書等出てるんですけど、
1:40:09	ここに火災の感知に支障がないことを確認した上で適用するとありますが、どのような方法で火災の感知に支障がないことを確認したのか説明していただけますか。
1:40:49	元の三つです。工事基準書についてです。
1:40:57	16 ページ、17 ページの方に示し、
1:41:08	の設置方法の考え方はですね、お示しております。合計面積が表の 11 の方で、
1:41:18	面積。
1:41:21	で、
1:41:22	スズエと図の
1:41:23	示す、張り、
1:41:25	であれば、衛藤。
1:41:30	パンチに支障がない。
1:41:33	ということで考えており、
1:41:40	火災対策室の田部ですけど、この 16 ページに書かれてるものって、
1:41:46	工事基準書をそのまま持ってきたものじゃなかったでしたっけ。
1:41:53	元ですね。
1:41:54	その通り。
1:42:01	質問の、
1:42:03	内容としては、
1:42:09	工事基準書をそのまま持ってきていいというふうにはどこにも書いてないと思いましたので、この火災の感知に支障がないことを確認した上で適用するという文章に対して、どのような方法で確認したのかという意味で質問させていただきました。
1:43:03	そのものをですね麴菌そのものを御説明。
1:43:09	してる資料がありますけども、これらをこれらをこれらも基にですね先ほどからお見せしている。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:23	19 ページか。
1:43:25	まず 19 ページの表 3 ですね、凡例で示しておりますけども、
1:43:31	これら、これらを整理していると。
1:43:34	いうことになっておりまして、さらに、それらを見た上で、かんがみた上で等の配置ですね、適正な配置にできるかというところを、
1:43:44	それらのお見せしている 21 ページ、
1:43:48	2、21 ページですね、に例示させていただいておりますけども、やはり事の中で、幾つ、つければいいか、どのようにつければいいかというところを整理しているということになってございます。
1:44:10	火災対策室の田部ですけど。
1:44:18	ちょっとこのパワーポイントを見てて
1:44:22	疑問に思ったんですけど。
1:44:25	消防法施行規則食う、または、
1:44:29	その工事基準書の設置要件に従いという考え方のもと、書かれて、
1:44:35	いますよね。
1:44:37	で、
1:44:40	消防法施行規則は法律通なので例えばこういう用途のこの大きさの建物には、この種類の感知器を、
1:44:49	設置するとか、そういう要件書かれてると思うんですけど。
1:44:55	王子基準しょう。
1:44:57	ノー。
1:44:58	その要件って何なんだろうって
1:45:02	パワーポイントの 13 ページ、ごめんなさい。
1:45:10	パワーポイントの 16 ページ以降が
1:45:14	工事基準しょう。
1:45:16	に定めるものについて、説明書きされてますよね先ほどもご説明いただいたんですけど、
1:45:25	その工事基準書の設置を受け、
1:45:28	で何なんだろうと思ってちょっとわからないのでご説明いただけます。
1:45:50	すいません。火災対策室タナベですけど、
1:45:56	この
1:45:57	ここに書いてある工事基準書、ここ、
1:46:01	例えば 16 ページを例にとりますと、
1:46:04	末梢区画が連続してある場合のという部分ですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:09	消防法施行規則によると、基本的には全部設置をしなければいけないのが大原則なんです。
1:46:18	だけども、これは、ある意味の緩和という意味での、
1:46:24	ものなんですよ。
1:46:27	それを何か要件っていうふうに書かれて、
1:46:31	いると何かもう、これがデフォルトみたいな形になってしまって、
1:46:36	いるのかなとそういう、もしかしてお考えなのかと思ひましてちょっとその辺質問させていただきました。
1:46:59	火災対策室のサイトウちょっと島野タナベの話をちょっとだけ質問変えさせていただくんですけども、
1:47:05	ここ、
1:47:07	工事基準書を、
1:47:09	で説明をされてる。
1:47:12	工事基準書を説明。この東海第2のプラントで、
1:47:18	使えるというふうに考えている理由は何ですかっていうふうに聞いた方が多分答えやすいのかなと思うんですけども。
1:47:26	今のタナベ西岡私はそのどちらかに答えていた。
1:48:01	原理ヒロキでございます。明確なちょっと回答なるかなんですが、基本的には、障防法に、障防法という規則に記載されている工事基準書を適用させているんですけども、
1:48:14	倉沢の
1:48:16	先ほどご説明させていただいた建築基準法、そういったものも準拠という言葉がいいのかどうかなんですけども、建物自体に対する対応として、
1:48:26	そういったものも踏まえて、我々設計してきております。
1:48:31	今回具体的にその工事基準書というものをですね照らし合わせると、
1:48:35	具体的なそのハラ下にも入れなきゃならない。今中身はおっしゃる通りなんですけども、
1:48:42	原則、感知器つけなさい。
1:48:44	そういったところを見ながらですね現場に合わせるように、我々は、要件という表現がフレーズがいいのかどうかはちょっと、
1:48:52	おきまして、
1:48:53	そういったものも参照しながら、今現時点では感知器、
1:48:57	そういったものの追加要求ですねそういったものを対応しているというように整理はしています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:08	火災対策室の斉藤です。
1:49:11	要は、さっき私が大きな枠組みとしてお話したのは消防法施行規則の23条4項ですよと、そこに対して、工事基準書が使えるー
1:49:26	建物なんですよっていう説明を、
1:49:29	きちっと間を、先ほどのイトウの言い方で言えば、間を詰めていただかないと、要は何でそ、それを使っていいますかと、要は、障防法せ、
1:49:40	消防法施行規則23条4項に紐づいて実際の一般の建物で使われているのが工事基準章なわけですよそういう
1:49:50	要はローカルローカルルールというか余りにも狭くて本当は付けられないような場所にどのようにつけるかっていうのは工事基準書ですけどそれはただ一般の建物だから、付けられるっていう認識だと。
1:50:01	いうふうに普通は思うんですけども。
1:50:04	そこを踏まえて東海大のこのプラントってどうなんですかっていう話がきちっと書いてない、説明をいただかないと、なんでここで急に、
1:50:14	工事基準書なんですかっていう話が、
1:50:18	要は我々読んでてもわからないし、そういうのが、説明されてないと、何でっていう話をどうしてもわからないんで確認せざるをえなくなるんですよ。
1:50:30	意図はわかりましたか。
1:50:34	現在ヒロキと思います。早野室長のご質問イトウはわかりました。
1:50:49	火災対策室タナベですけど、一番最初に質問した7ページのパワーポイント7ページの米印のところですね。
1:50:58	ここもですね今サイトウからちょっとお話ありましたが、
1:51:02	なぜここに突然、自動火災報知設備の工事基準書が出てくるのか。
1:51:11	それ通りではなくて、それ、
1:51:14	に定める設計について火災の感知に市場がないことを確認した上でというふうに書いてありましたので、先ほど質問させて
1:51:25	ちょっとこの
1:51:25	について整理
1:51:33	次がですね。
1:51:35	8ページの、
1:51:37	フローについて質問させていただきます。
1:51:44	まずこの一番左上の火災防護上重要な機器等及び重大事故等対処施設の配置等から火災区域火災区域、
1:51:55	区画を設定。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:57	とありますけれども、ちょっと確認なんですが、
1:52:05	その下裁判を審査基準に出てくる 2 種類の火災区域区画と、
1:52:10	この火災防護上重要な機器とまたは重大事故等対処施設を設置する区域、
1:52:18	同義と考えてよろしいのでしょうか。
1:52:26	下の 2、
1:52:47	火災対策室タナベですけど。
1:52:50	そうすると、
1:52:53	一番最初の、
1:52:58	ごめんなさい、四角の下のひし形ですね一番最初の聞き方は、
1:53:03	ノートを来た場合は、これは火災区域だけではない
1:53:07	そういう考えですか。
1:53:36	例のヒロキでございます。設定はしています。ただそぐわないところというところのですねそぐわないところになって、
1:53:50	火災対策室タナベですけど、そぐわないというのはどういう意味でしょうか。
1:54:12	元ヒロキトビアスでございます。申し訳ありません。
1:54:15	分類の 4 になりますので、今の労基法ですねそういったものにそぐわないで消防法に基づくもの、
1:54:23	という、申し訳ないそういったような、
1:54:27	言い方 2 になってしまいます。
1:54:32	火災対策室タナベですけど。
1:54:37	最初の日がたが、059 助教のその火災防護審査基準に規定する火災区域企画課という、
1:54:47	聞き方に対して、ノーであれば、
1:54:50	ここ、この次の消防法または建築基準法は、火災区域ではないんであれば別にここに載せる必要はないんじゃないか。
1:55:18	はい。拳ヒロキでございます。決して
1:55:23	その火災我々が考えている火災区域区画、
1:55:28	んではないものということではございません。
1:55:33	なのでここちょっと
1:55:35	すいません、どう表現したらいいカー、先ほど申し上げた通り火災か、
1:55:43	へ、
1:55:46	えっと
1:55:48	別途ご説明ですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:50	ちょっとさせていただければと思っております。
1:55:54	基本的には火災区域に設定しているところなんですけども、
1:56:00	ただ要するに炉規法上によらない、その考え方で感知器を設置するというような、そういったような考え方で整理しておりますので、後ろの11ページの分類の表6、
1:56:13	に記載されてる通りになっています。
1:56:16	ですので、ちょっとこのフローだけを部長に見ていくと、確かにおっしゃられる通り、
1:56:24	わかりにくいというか、そういうような流れになっているのかなというように、ちょっと間感じてしまいます。
1:56:32	火災対策室タナベですけど。
1:56:36	そう、そうですねちょっと。
1:56:39	私も非常にわかりにくいなと思った次第でございます。先ほど西内からも発言ありましたが、本当に分類4と5の区別は何なのかっていうところに行き着くのかなというふうに、
1:56:52	ですので、この辺は再考していただく。
1:56:55	いう必要が、
1:56:57	整理させていただければと思います。
1:57:04	玄広木でございます。承知しました。
1:57:16	衛藤規制庁ニシウチですけど、他に社長がわかりますか。
1:57:24	すいません火災対策室タナベですけど、
1:57:32	10ページの、
1:57:35	すみません11ページですね。
1:57:46	11、
1:57:49	10ページ11ページのこの火災区域区画のところですね分類のところちょっと質問なんですけど、
1:57:58	高天井のところは20メートルという、
1:58:04	20メートルと書いてある、20メートル以上のところはないのかなというふうには認識してるんですけど、
1:58:09	天井は高く、煙や熱が拡散しやすいっていうのはこれ具体的に何メートルぐらいの高さを想定してるんでしょうか。
1:58:35	現在ヒロキでございます。今の具体的な何メートルというちょっと加来さんのですね、えんじーは申し上げません持ち合わせてございません。
1:58:45	でも、
1:58:47	その高さ方向だけのまず考え方で整理している。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:52	そういったところになってございます。
1:58:55	もう一方後ろのパワーポイントもつけておりますけども、ダクトが近いとか、
1:59:01	その負担機構ですね、換気がどこにあるかというそういったものを踏まえて、
1:59:07	設計等ですね見直しを図っているというところになってございます。
1:59:11	そういった
1:59:13	手前みそんなっちゃいますけどもこういった数字を見ながらですね、配置を、
1:59:18	考え設計している考えているというところになってございまして、先ほど申し上げた通り具体的な数字はですね持ち合わせて、
1:59:25	ありません。申し訳ございません。
1:59:29	火災対策室タナベですけど、持ち合わせてないというのは、
1:59:33	具体的な設定がされてないってそういう意味では、
1:59:39	漠然と定検時
1:59:44	イメージな
1:59:48	はい、衛藤阿比留でございます。
1:59:52	田尾さんおっしゃる通りでございまして、
1:59:56	換気系要するに換気循環していて、要するにユフではない。
2:00:02	通路部である、ヒロイっていうところを我々も説明して参りまして、
2:00:09	従いましてそこに煙が滞留しないと。
2:00:12	というようなところをご説明して参りました。
2:00:15	その考え方は変わっておりませんので、そこに要は針の考え方とかそういったものをですね、今回取り入れまして、さらに
2:00:24	再検討しているとバックフィットに基づいて再検討していると、そういうような考え方になってございます。
2:00:33	火災対策室タナベです。
2:00:38	そ、その部分が適用される箇所、
2:00:43	で、
2:00:48	何か一覧とかであるんでしたっけ。
2:01:04	元のニイズです。その理解で、
2:01:09	防災対策、
2:01:12	では本当にもうこれはオペフロだけだとそういう
2:01:16	この辺についてはわかりました。
2:01:22	続いてですね 11 ページなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:27	先ほど説明されていましたが消防法または建築基準法に基づくという部分の火災区画の話で、
2:01:37	確認ですが、
2:01:40	これ一、もしかして消防法の施行令の 32 条で、感知器免除されている箇所があったりする。
2:02:33	火災対策室タナベです。もしわからなければ後日でも構いませんので、
2:02:40	イデニイズ
2:02:49	はい。
2:03:17	原電の新津です。
2:03:23	地上面
2:03:30	火災対策室タナベです。
2:03:32	わかりました。
2:03:35	あと燃料貯蔵タンク設置区域っていうのはそれはどこになるんで、
2:03:45	規制庁西内ですけど、ちょっとそれはそういうやつを先に冒頭で確認すればよかったんですけど、前回のヒアリングの時に、
2:03:52	補足説明資料を要は具体的な区域区画の情報とかそういうのが説明がなくて、
2:04:00	んな人を説明をするのか、っていう話どの理由でまず説明をするのかって話をしたと思うんですけど。
2:04:08	今回は、まずその概要の説明であって、その具体的な区域区画の情報、何か設置どういうふうに考えてるのかそもそも区域区画がどういうふうなってるのかっていうのを今後説明をされる予定って理解でよかったでしたっけそれとももう、
2:04:22	これで一通り説明をしている理解なんでしたっけ。
2:04:27	元ヒロキヒロキでございます。
2:04:29	はい後者の方の考え方で今回は、前回ご説明したところで先ほどから申し上げている 20、21 ページの配置関連ですね。
2:04:42	それから 20 ページになりますけども、こういったものを置くか。
2:04:46	こういったものをまず具体的に考えてるところを例示。
2:04:51	整理させていただいて、今後ですね、より細かいところこういった整理をしておりますので、今後のヒアリングの中で、
2:04:59	さらに細かいところの具体的な、今おっしゃられたような区域、区画ですね。
2:05:05	そういったところに対するご説明を差し上げたいというふうに考えておりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:10	あれ、
2:05:12	前者だったと思いますけど、すいません。
2:05:17	理解しました。なので今田辺が確認した内容も今後補足とかで充実されると思うので、しっかり説明いただいて、それで事実確認我々も進めていければいいのかなと思います。今多分現状、
2:05:29	その具体的な区域区画の図面とかがない状況で言葉だけで説明をしてもなかなか共通理解られない、あんまり効率的じゃないかなと思いますので、ご説明される予定があるのであればそれが出てきてから我々も確認を進めたいなと思います。
2:05:43	あと他に続けて何かありますかそういう意味では基本設計方針という考え方的なところ、
2:05:48	個々個別の具体的な設計は今後説明がある予定というふうについていうて位置付けですので、
2:05:57	規制庁伊藤です。すいません。ちょっと今の関係で一応、一応というか、確認なんですけど、パワポの 10 ページ 11 ページで、
2:06:04	該当火災区域火災区画 0 とあって、いろいろ書いてあるんですけど、これで、これはあくまで 1 例なんですかねほかにもいっぱいあるっていう、
2:06:16	感じですか。
2:06:31	県連のニーズです。こちらがイトウ 0 と記載させていただいたのは、分類の 3、
2:06:39	については
2:06:41	という記載をさせていた。
2:06:44	英文の 4 のところだと火災区域区画という
2:06:59	その他につい
2:07:02	今、
2:07:03	こちら
2:07:09	規制庁伊東です。わかりました。分類 4 については一応そのカテゴリー的には網羅されてるという理解でいいんですか。
2:07:17	木戸ニーズです。
2:07:19	ありがとうございます承知しました。
2:07:27	火災対策室の高橋です。ちょっとその辺細かい話なんですけども、
2:07:32	分類 4、
2:07:34	建築基準法に基づく火災感知器ってすいません具体的に、これな、何を指してるんでしょうかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:50	元で広げて、現在ヒロキでございます。はい。
2:07:55	と、当時になります。当県煙だけをターゲットにしていたというふうに
2:08:03	記憶しております。
2:08:07	現地近似法ですよ。
2:08:10	になってくると、基本的に、東海第2でいけば基本はもう煙になるのかなというところで、考えていたものになってます。
2:08:19	そこにプラス、
2:08:22	熱が入るところもありますので、熱も加えると、いうことになってそういう設計を、
2:08:31	この記載になって、この記載をしていると。
2:08:42	葛西さんのタカハシ説明き直します。建物に自動火災報知設備感知器と受信機のセットをつけるというのは消防法で決まってて、
2:08:52	ついてると思うんですけども、障防法でついてる感知器。
2:08:57	と、または建築基準法でついてる感知器っていうのは一体具体的に何でしたかねっていう、
2:09:05	そうです。
2:09:11	現在ヒロキでございます。申し訳ございません。消防法と建築基準法で特別してるかと申し上げる区別はない一です。基本的には消防法に基づいて、
2:09:22	設置をしていって満足して満足という満足した設計をしているというところになってございますので、
2:09:28	ただの建築基準法というものも、要は建物の中には取り組んでいるということになってます。
2:09:38	はい。火災対策室の高橋です。わかりました。この協力は今後整理されてまた作り直しが整理されるということで後からでもいいかなと思ったんですけどちょっと、
2:09:50	今ざっくりとした考え方でちょっと確認したいんですけどもこの分類4っていうのは、
2:09:56	先ほど野田。
2:09:58	の質疑でちょっと回答あったと。
2:10:03	確認であったと思うんですけどた多重化しないエリアっていうことでよろしいかと。
2:10:09	元ニイズですその理解で
2:10:13	多重化しないってことは消防法に基づいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:18	付けるけども、皆様の自由意思のもと多重化しないっていう考えでよろしいですかね。
2:10:29	といたしますのも、
2:10:31	消防法に基づいて多重しないっていうと、障防法がまるで多重化して駄目だっていうな、ちょっとに聞こえてしまって、ただ障防法で別に多重化して駄目だとは、
2:10:41	一切言ってなくて別に多重化してもいいんです。そこ獣医師なんですけども、
2:10:45	その自由意思を強制にしているのが、
2:10:49	火災防護。
2:10:50	審査基準で、
2:10:54	ここは皆さんの獣医師で、
2:10:56	多重化しないと。
2:11:06	元の報告ですと自由意思っていう。
2:11:12	方法を満足するように、
2:11:19	はい火災対策室の高橋先生わかりました。
2:11:22	私からは以上です。
2:11:28	規制規制庁西内ですけど。
2:11:33	ここ今後明確にいただく話なんかも繰り返してますけど、
2:11:38	ちょっと明確に押さえておいて欲しいのはですね、別に我々障防法の審査をしてるわけじゃないので、
2:11:44	炉規法に基づく審査をしているので、
2:11:47	その炉規法に関しての適合性っていう観点で、説明資料は作っていただくようにお願いします。
2:11:55	今のままだと障防法の審査をしてるような、
2:11:59	野中会長にも聞こえたので、ちょっとそこだけ念のため、もう一度明確にお伝えしておきます。よろしくお願いします。
2:12:06	はい、衛藤ほかに規制庁から何かありますか。
2:12:11	よろしいですか。
2:12:12	はい。
2:12:13	衛藤。
2:12:16	少々お待ちください。
2:12:29	はい。県コバヤシ私の方からちょっと最後に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:33	はい。規制庁西内ですであればこちらが現時点で事実確認しておきたい点以上ですので、ちょっとお互い共通認識は変えているかだけちょっと最後確認をさせていただきたいなと思いますけども。
2:12:46	そちらから説明を簡単にで結構ですのでいただく形でよろしいですかね。
2:12:53	はい。元小橋です。今、今日のヒアリングを受けて、
2:12:57	料率確認させていただいて、
2:13:01	と。
2:13:02	揭示。
2:13:04	頭の方からちょっと確認していきたいと思います。
2:13:09	その前にですね、
2:13:11	コメント回答整理表の方は、CCN別途、
2:13:14	査定するという事で、
2:13:20	どこの資料のページがわかるように、
2:13:22	追記した上で修正するというのをしたいと。
2:13:27	あとは、
2:13:36	企画。
2:13:40	ページ 7 ページ。
2:13:42	の表の 5 の変更後のところの第 2 パラですね。
2:13:47	ここの関係が、施策記述の関係が明確になっていないということでこれは別途回答するというふうにこちらから説明していると。
2:13:57	あとその下の欄外のところですねコメント出している最後の方にも議論ありましたが、工事基準書、
2:14:04	と、この火災の感知しょうがないこと確認した上でってところ、
2:14:08	この関係がちょっとよくわからないということでここを別途整理をしてご説明するという事になって、
2:14:16	続いて、8 ページ。
2:14:20	ですね。
2:14:21	ここもす。同じような議論ですね一番初めのひし形の府ところで行ったところで分類をに行くんですが、
2:14:30	ここが炉規法におらないという説明をしてるんですがちょっとよく、審査基準との関係がよくわからないということで、
2:14:36	別途説明するという事でフローを見直す表現に直すかこちら、こちら考えて、またご説明したいと考えて、
2:14:46	あとは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:47	飛んで、
2:14:51	10 ページ 11 ページですね、ここはかなりいろいろご意見をいただきまして、
2:14:58	まずは分類各分類と、
2:15:02	審査基準との関係がよくわからないと、よく整理をしてくださいというは即答いただいております。木崎潤人、あと技術基準、
2:15:12	それと、この分類ですね、ここをしっかりと明確に整理をしてくださいということをお話があったと思います。
2:15:29	違いますね。
2:15:31	あと、飛びまして 16 ページからですね、工事基準書のことを説明しておりますが、先ほどの施工時基準書についても、
2:15:41	東海第 2 で使えるという判断した根拠先ほどの審査基準。
2:15:47	あと障防法とのその整理の中で、基準書をどう位置付けて使っているかっていうことをしっかり説明してくださいと。
2:15:54	と記載してくださいという話がありました。
2:16:00	あとは、
2:16:13	と、
2:16:20	あとソウダタナベさんの方からありました、消防法の 32 条との関係と、ページの 11 ページですね、その関係は、
2:16:29	該当するというふうにこちらから言いましたのでこれは追って説明いたします。
2:16:36	あと全般的な資料最後話しましたが、今は消防法に基づく説明が、何か見えるので、炉規制法に基づく、
2:16:43	審査の資料になるようなそういう表現にも全体的に見直したいと思っており、
2:16:51	下げ側でちょっとすいません。何か他にあれば、
2:17:11	抜け抜けがあれば、
2:17:16	大丈夫かな、ちょっと。
2:17:18	発電所でも今確認してますのでちょっと、
2:17:21	はい。
2:17:24	発電所、もし何かあるなし、終わったら、
2:17:29	止まってますので、
2:17:30	今ちょっと返答ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:56	規制庁西内ですけど、空想に漏れはないかなとは思んですけど、多分いただいたものを簡単にご紹介いただいてるので、多分もう少し細分化しようと思えば幾らでもできると思うんです。そこはしっかり
2:18:11	社内で整理をいただければと思うんですけど、大枠は項目的にはそこまで漏れはないのかなと。で、一つちょっと言うのであれば
2:18:21	基準、基本設計方針、うん。
2:18:24	具体的な設計まさに分類とかフローとかっていうその流れを、
2:18:31	一部分分、例えば
2:18:35	火災の感知に支障がないことっていうパートとか、あとは分類 4 とかだけじゃなくて、全体しっかり意識してき今回改正があった基準どこなのか、そこに対してどういう業績おっしゃってるのかって全体ですよ。
2:18:50	あの部分だけじゃなくて全体構成としてしっかり噛み砕いて、説明をいただくっていうところを意識さしていただければ、基本協の確認はその問題意識からくる確認が大半ですので、
2:19:04	そこさえ押さえていただければ
2:19:07	次出てくる資料なんかミイとしたものに共通認識を取りやすい資料になっているのかなと思います。
2:19:13	そこはご認識おきいただければ十分かなと思ってますが、
2:19:17	現場です。同じ認識です。
2:19:19	ちょっと説明が始まっちゃいましたがその繋がりですね、その説明がかなりわかりにくいということが認識できましたので、そこは充実させて、次回説明したいと思います。
2:19:33	はい。
2:19:34	あとすいません、同じ観点かもしれませんが、20 ページのところの下の方 15 のところの、
2:19:41	2 行目のまたは以降のところですね、これが何を指しているのかっていうことも、説明して欲しいという話がありましたので、
2:19:48	ここもしっかり示したいと考えてます。
2:19:52	はい。規制庁西内です。
2:19:55	はい。
2:19:57	本庁側で何か追加で確認点や、今挙げてもらったところで何かありますか。概ね今日事実確認したところは共通認識取れてるかなと思ってますけども。
2:20:10	本庁がわあ、事業者があつて規制庁が旅行よろしいですかね。
2:20:16	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:17	発電所側は何かありますかよろしいですか。
2:20:21	はい、発電所はもう大丈夫です問題ありません。はい。
2:20:25	最後にスケジュール感事務的なスケジュール感だけですけども、今日の確認事項を踏まえて、
2:20:32	資料修正いただいて提出というのは次のステップかな等で、
2:20:36	ヒアリングの中でもちょっと確認しましたけど、個別具体的な区域区画の状況を設備せえのか、感知器の設置方法とか、
2:20:46	は、それはまた別途、
2:20:48	ていう形のイメージですかね。要は次に出てくる資料は今日やりとりをした部分の事実かいただいたものであって、ちょうど平木さんから、
2:21:00	具体の個別の区域区画の状況とか別途資料を作成中ですよって話あったと思うんですけどそれは次のタイミングで出てくるかまたその次に出てくるイメージが、
2:21:09	その次のイメージですかね。
2:21:12	元ヒロキでございます。はい次のイメージ今整理を整理しておりまして、結構なボリュームになってございます。それはこの時間体で御説明ということにはちょっと足りないのかなと思っておりまして、
2:21:24	あくまでも例示させていただいて、別途ご説明させていただければと思っております。
2:21:29	規制庁西内ですわかりました。資料修正して、説明の準備整いましたらまたて、東京支社を通じて事務的にご連絡いただければと思います。
2:21:40	はい。全体を通して原燃側から何かありますかよろしいですか。
2:21:47	原燃側はコバヤシです特にございません。
2:21:51	衛藤規制庁も全体通して何かありますかよろしいですか。
2:21:55	はい、じゃあ今日のヒアリングはこれで終了にしたいと思いますありがとうございますありがとうございました。
2:22:01	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。